

戦歿者遺族に対する
給與金等に関する件
通牒

復員廳第二復員局公報

第三三號

昭和二十一年九月三日(火)
第二復員局文書課

○令 達

扶助 復二第二〇八號

元軍艦 鳳 翔

省特別輸送艦トシテ災地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十一年八月三十一日

復員廳 總裁

○通 牒

二復員扶第一六號

昭和二十一年八月十五日

第二復員局 人事部長
第二復員局 經理部長

各地方復員局 人事部長
同 經理部長 殿

戰歿者遺族ニ對スル給與金等ニ關スル件通牒

首題ノ給與金ハ別表ノ通りデアル。コレハ他ニ支障ノナイ限り、
遺骨傳達ノ際遺族ニ支給スルコトトシ、左記ヲ知ノ上、然ルベ
ク取計ハレタイ。

記

復員廳第二復員局公報 第三三號 昭和二十一年九月三日

- 一 各人事部ハ遺骨傳達式名簿ヲ成ルベク傳達式ノ一月前マデニ當該地方復員局經理部長(東京都ニアリテハ第二復員局經理部長)ニ送付シ、其ノ寫ヲ第二復員局人事部長ニ夫々送付スル。但シコノ名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト。
 (イ) 給與金ノ種別、金額
 (ロ) 戰歿者ノ所屬、官職階、氏名(入籍番號)
 (ハ) 戰歿年月日
 (ニ) 戰歿ノ場所
 (ホ) 本籍、遺族ノ現住所、戰歿者トノ續柄及ビ氏名
- 二 各經理部長ハ給與金等ヲ支給シタトキハ、前號ノ名簿ヲ代用シテ、支給濟調書(支給年月日記註)トシテ、コレヲ第二復員局經理部長ニ送付スル。
 コノ場合ニオイテハ、本年八月第四番電第四號ノ名簿ヲ送付ハ省略シテ差支ナイ。
- 三 本件ノ實施ハ復員廳ノ發足ニヨリ、第一、第二復員局ノ取扱ヒ振リノ整一ヲ期スルト共ニ、給與金ノ早期解決ヲ計ツテ、極力遺族ニ満足ヲ與ヘル趣旨ニヨルモノデアル。
- 四 給與金ノ資格調査ニ關シテハ、左ノ各號ニ留意ノ上、コレヲ處理スルコト。
 (イ) 當部扱ヒノ戰歿者ニ對スル死亡賜金及ビ葬祭料ハ概ネ支

死亡賜金及埋葬料ト
關スル件

遺族出頭旅費支給等ト
關スル件

種別	金額	記事
死亡賜金	二七〇圓	昭和二十一年八月 第一七番電 参照
葬祭料	四〇圓	右 (賜託等ヲ含ム)
遺族出頭旅費	二七〇圓	昭和二十一年八月 第四番電 五月 二復人事局扶助金第一九四號 参照

第一七番電 (昭和二十一年八月十七日發電濟)

發 第二復員局長

宛 部内一般

死亡賜金及葬祭料ニ關スル件

(別表)

給與金

給濟デアル。

(ロ) 遺族出頭旅費ハ遺骨傳達濟ノモノ又ハ特別賜金願書傳達濟ノモノニツイテハ、本年五月二復人事局扶助金第一九四號ニヨツテ、從來通り處理スルコト。

五 本通牒ハ昭和二十一年八月一日ヨリコレヲ實施スル。

六 戦歿者以外ノ死歿者デ別表ノ給與金ヲ支給スル資格者ニ對シテハ、本通牒ヲ準用スル。

今次ノ戦争ニ關シ死歿シタ者ノ遺族ニ支給スル死亡賜金(兵ハ死亡手當)ハ一率貳百七拾圓、葬祭料(又ハ埋葬料)ハ一率四拾圓ト定メラレ昭和二十一年七月二十九日以後適用サレル。

第一八番電 (昭和二十一年八月十七日發電濟)

發 第二復員局長

宛 部内一般

死亡賜金及葬祭料ニ關スル件

今般第一七番電(十七日)ヲ以テ死亡賜金及葬祭料ノ支給額ヲ定メラレタガコレガ支給ニ當ツテハ遺族出頭旅費ト同シ要領ニヨラレタイ。

第四番電 (昭和二十一年八月十二日發電濟)

發 第二復員局長

宛 部内一般

遺族出頭旅費支給等ニ關スル件

一 今次戦争ニ際シ死歿シタ者ノ遺族ニ對シテハ昭和二十一年八月一日以降遺族出頭旅費トシテ貳百七拾圓(特別賜金ヲ賜與セラレナイ遺族ノミ)ヲ遺骨傳達式ノ經費ヲ支辨スル地方復員局經理部(東京都ニアリテハ第二復員局經理部會計課)ニ於テ支給スルコトガデキル。

二 前號ノ給與ハ自由支拂トシテ差支ナイ。

三 第一號ノ給與ハ遺骨傳達式ノ際地方世話部ヲ經由シテ遺族ニ交付スルノヲ例トスル。

未賜與者ニ對
於出頭旅費支給
の注意

四 第一號ノ給與ヲ支給シタトキハ金額、支給年月日、死歿者官職、氏名、受給者(死歿者トノ續柄及ビ氏名)ヲ記載シタ名簿ヲソノ翌月ノ末日迄ニ第二復員局經理部(主計課)ニ提出スルモノトスル。

五 昭和二十一年第二三二七五四番電(六月十二日公報)ハ昭和二十一年七月三十一日限り之ヲ廢止スル。

二復人事局扶賜金第一九四號
昭和二十一年五月三十一日

第二復員省人事局扶助課長

各地方復員局人事部長殿

特別賜金未賜與者ニ對スル遺族出頭旅費支給取扱ノ件照會

首題ノ件ニ關シ五月二十三日附第一七五四番電ヲ以テ通牒セラレタル處、之ヲ取扱方ニ付テハ左記御了知ノ上處理願ヒタイ。

記

- 一 第一七五四番電第二號ニヨル遺族出頭旅費支給資格者名簿ハ三通トシ、死歿者特別賜金賜與規程第八條但書該當者ニシテ特別賜金支給資格者調書ヲ作成シアルモノニ付テハ之レヲ添附シ、一通ヲ省略セラレ差支ヘナイ。コノ場合ニ於ケル名簿ニハ死歿年月日及ビ死歿ノ場所ハ記載ヲ要シナイコト。
- 二 特別賜金願書類ヲ第二復員大臣ニ進達濟ノモノニ付テハ前號ノ名簿ハ更メテ送付シナイコト。

復員廳第二復員局公報 第三三號 昭和二十一年九月三日

三 本取扱ハ航空又ハ潜水艦保護賜金、一時賜金未賜與者ニツイテモ之ヲ準用スル。

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

特別輸送艦	海第一〇七號	福岡市海岸通り博多運航部氣付
同	雪 風 同	同
同	海第一一八號	佐世保市福石町
同	雄 竹 同	佐世保地方復員局艦船運航部氣付
同	海第一五六號	佐世保郵便局氣付
同	掃海母艦 新 南	舞鶴市長濱舞鶴掃海部氣付
同	特別輸送艦 海第一六號	吳市下山手町吳地方復員局氣付
同	海第二〇五號	鹿兒島市住吉町海岸通
同	輪 第二〇號	鹿兒島運航部氣付
同	花 月 同	岡山縣玉野市玉
同	同	三井造船所庶務課氣付
同	同	吳地方復員局艦船運航部氣付
同	同	福岡市海岸通り博多運航部氣付
同	同	福岡市舊柳町一六一
同	同	博多上陸地連絡所氣付

1737-2 1737

特別賜金未賜與者ト對
遺族出頭旅費支給
取扱ノ件照會

<p>四 第一號ノ給與ヲ支給シタトキハ金額、支給年月日、死歿者官職、氏名、受給者(死歿者トノ續柄及ビ氏名)ヲ記載シタ名簿ヲソノ翌月ノ末日迄ニ第二復員局經理部(主計課)ニ提出スルモノトスル。</p> <p>五 昭和二十一年第三一七五四番電(六月二十二日公報)ハ昭和二十一年七月三十一日限り之ヲ廢止スル。</p> <p>二復人事局扶賜金第一九四號 昭和二十一年五月三十一日</p>	<p>第二復員省人事局扶助課長</p> <p>各地方復員局人事部長殿</p> <p>特別賜金未賜與者ニ對スル遺族出頭旅費支給取扱ノ件照會</p>	<p>首題ノ件ニ關シ五月二十三日附第一七五四番電ヲ以テ通牒セラレタル處、之ヲ取扱方ニ付テハ左記御了知ノ上處理願ヒタイ。</p> <p>記</p> <p>一 第一七五四番電第三號ニヨル遺族出頭旅費受給資格者名簿ハ三通トシ、死歿者特別賜金賜與規程第八條但書該當者ニシテ特別賜金受給資格者調査ヲ作成シブルモノニ付テハ之レヲ添附シ、一通ヲ省略セラレ差支ヘナイ。コノ場合ニ於ケル名簿ニハ死歿年月日及ビ死歿ノ場所ハ記載ヲ要シナイコト。</p> <p>二 特別賜金願書類ヲ第二復員大臣ニ進達濟ノモノニ付テハ前號ノ名簿ハ更メテ送付シナイコト。</p>	<p>三 本取扱ハ航空又ハ潜水艦保護賜金、一時賜金未賜與者ニツイテモ之ヲ準用スル。</p>	<p>○雜款</p>	<p>○郵便物發送先</p> <p>特別輸送艦 海第一〇七號 福岡市海岸通り博多運航部氣付</p> <p>同 雲 風 同</p> <p>同 海第一一八號 佐世保市福石町 佐世保地方復員局艦船運航部 氣付</p> <p>同 雄 竹 同</p> <p>同 海第一五六號 佐世保郵便局氣付</p> <p>同 掃海母艦 新 南 舞鶴市長濱舞鶴掃海部氣付</p> <p>同 特別輸送艦 海第一六號 吳市下山手町吳地方復員局氣付</p> <p>同 海第二〇五號 鹿兒島市住吉町海岸通 鹿兒島運航部氣付</p> <p>同 輪第二〇號 岡山縣玉野市玉 三井造船所庶務課氣付</p> <p>同 花 月 吳市 吳地方復員局艦船運航部氣付</p> <p>同 箕 面 福岡市海岸通り博多運航部氣付</p> <p>同 海第八五號 福岡市舊柳町一六一 博多上陸地連絡所氣付</p>
--	--	---	---	------------	--

復員廳第二復員局公報 第三三號 昭和二十一年九月三日

1737-2 1737

復員廳第二復員局公報

第三四號

昭和二十一年九月六日(金)

第二復員局文書課

○令 達

復二第二二三號

復員廳分課規程中次ノヤツニ改正スル。

昭和二十一年九月五日

復員廳 總裁

別紙第二第二十八條ノ表中舞鶴地方復員局ノ項掃海部ノ欄「
敦賀」ヲ削ル。

(参照 六月二十日第二復員局公報)

復二第二二五號

復員廳第二復員局及地方復員局定員表中次ノヤツニ改正スル。

昭和二十一年九月五日

復員廳 總裁

舞鶴地方復員局ノ項中復員事務官二級ノ欄「一五一」ヲ「一四
六」ニ、合計ノ項同欄「一、二二四」ヲ「一、二〇九」ニ改メ
ル。

(参照 六月十九日第二復員局公報)

○通 牒

復二第二三四號

復員廳地方復員局定員表(内譯)中次ノヤツニ改正セラレタ。

昭和二十一年九月五日

復員廳第二復員局長

舞鶴ノ部中敦賀掃海部ノ項ヲ削リ「二五六」ヲ「二四六」ニ、
「三八九」ヲ「三七二」ニ、「八八七」ヲ「八七五」ニ、合計ノ
項「一、〇八五」ヲ「一、〇七五」ニ、「三、三一四」ヲ「三、二九
六」ニ、「六、二〇〇」ヲ「六、一八八」ニ改メ
ル。

(参照 六月二十日第二復員局公報)

復二第二二六號

昭和二十一年復二第七號復員事務官ノ定員ニ關スル件中次ノヤ
ツニ改正セラレタ。

昭和二十一年九月五日

復員廳第二復員局長

舞鶴地方復員局ノ項中「五」ヲ「〇」ニ、「一六五」ヲ「一四七」
ニ、計ノ項中「一七三」ヲ「一六八」ニ、「一、〇六六」ヲ「一、
〇四八」ニ改メ
ル。

(参照 六月十九日第二復員局公報)

復員廳第二復員局公報 第三四號 昭和二十一年九月六日

八一

二復人扶第一九號ノ二九四

昭和二十一年八月三十一日

復員廳第二復員局人事部長

復員廳第二復員部内各廳長(殘務整理諸官)殿

戦犯者(容疑者ヲ含ム)名簿作製送付ニ關スル件照會

元海軍關係軍人軍屬ヲ戦犯者トシテ現ニ拘留(抑留)サレテキル者又ハ裁判確定(死刑執行者ヲ含ム)シク者ニ對シ、報告又ハ通報ヲ接受シテ各部及ビ現地ヨリ歸還シテ殘務整理中ノ責任者ハ、別表様式ニヨリ、右該當者ノ名簿ヲ至急作製シテ、第二復員局人事部長扶助課及ビ各地方復員局人事部長扶助課ニ、寫ヲ第二復員局總務部總務課及ビ調査部ニ夫々一部宛直送サレタイ。追ツテ現ニ名簿ガ作製シテアル向ハ、ソノ名簿ヲ代用サレテ差支ナイ念ノクヌ。

(別表添)

二復人業第八號ノ七八

昭和二十一年九月五日

復員廳第二復員局人事部長

關係各廳長殿

業績事務取扱ニ關スル件照會

二復人業第八號ノ七〇(七月二日公報参照)ヲ以テ通牒ノ旨題ノ件中(様式第一)備考四ノ次ニ左ノ一項ヲ追加スル。

五二階級進級者ハ「(二階級)」ト、特進シナイモノハ「(特進セヌ)」ト夫々特進官等欄ニ記註スルコト

○ 雜 款

○ 轉官

六月十五日	地方技官(三)ニ轉官	海軍技手	中根 重利
同	厚生技官(二)ニ轉官	海軍技師	鈴木 信
同	地方事務官(三)ニ轉官	海軍書記	堀 正太郎
同	防疫監吏(三待)ニ轉官	同	橋爪 正義
同	地方技官(三)ニ轉官	海軍技手	佐伯 義雄
同	同	同	西尾 重藏
同	同	同	大飼 一也
七月十五日	大藏事務官(二)ニ轉官	海軍司政官	篠塚 繁
同	地方事務官(三)ニ轉官	海軍書記	石黒 清二
同	同	同	内山 正年

1740-2 1740

二復人扶第一九號ノ一九四

昭和二十一年八月三十一日

復員廳第二復員局人事部長

復員廳第二復員部内各局長(業務管理官)以下

戦犯者(容疑者ノ合ム)右件作製送付ニ付スル件照會

元海軍關係軍人軍屬ヲ戦犯者トシテ現ニ拘留(押留)セシメテモル者又ハ裁判確定(死刑執行者ノ合ム)シタ者ニ對シ、報告又ハ通報ノ接受シタ各部及ビ現地ヨリ歸還シテ業務整理中ノ責任者ハ、別表様式ニヨリ、右該當者ノ名簿ヲ至急作製シテ、第二復員局人事部長扶助課及ビ各地方復員局人事部長扶助課ニ、寫ノ第二復員局總務部總務課及ビ調査部ニ夫々一部宛直送サレタイ、追ツテ現ニ名簿作製シテアル向ハ、ソノ名簿ヲ代用サレテ差支ナイ念ノクメ、

(別表添)

二復人業第八號ノ七八

昭和二十一年九月五日

復員廳第二復員局人事部長

關係各廳長殿

業績事務取扱ニ關スル件照會

二復人業第八號ノ七〇(七月二日公報参照)ノ以テ通牒ノ首題ノ件中(様式第一)備考四ノ次ニ左ノ一項ヲ追加スル、

五 二階級進級者ハ、(二階級以下、特進シテイセノハ)特進セヌニト夫々特進官等階級ニ記述スルコト

○ 難 款

○ 轉官

同	六月十五日	地方技官(三)ニ轉官	海軍長子	中根 中尉
同	同	厚生技官(二)ニ轉官	海軍技師	鈴木 信
同	同	地方事務官(三)ニ轉官	海軍書記	堀 正太郎
同	同	防疫監吏(三)ニ轉官	同	橋本 正彦
同	同	地方技官(三)ニ轉官	海軍長子	佐伯 善雄
同	同	同	同	西尾 重蔵
同	同	同	同	大畑 一也
同	七月十五日	大蔵事務官(二)ニ轉官	海軍司政官	佐藤 一榮
同	同	地方事務官(三)ニ轉官	海軍書記	石黒 清三
同	同	同	同	内山 正年

1740-2 1740

扶助

復員廳第二復員局公報

第三五號

昭和二十一年九月十一日(水) 第二復員局文書課

○令 達

復二第二〇九號

昭和二十一年內令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月一日

復員廳總裁

大竹掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「片島、黒神」ヲ削ル。
大湊地方復員局及ビ大湊掃海部ノ各項ヲ削ル。

(參照 昭和三年三月六日第二復員省公報第一〇號)

復二第二一〇號

横須賀地方復員局所管

掃海艦 掃特第十一號

同 掃特第十二號

同 掃特第十三號

同 掃特第十四號

吳地方復員局所管

同 海第四十八號

同 海第七十六號

同 海第七十七號

復員廳第二復員局公報 第三五號 昭和二十一年九月十一日

復二第二一一號

汽船 第五京仁丸

右ヲ特別輸送艦ト改メル。
昭和二十一年九月一日

復員廳總裁

大阪地方復員局所管

同 黒神

同 片島

大湊地方復員局所管

同 掃特第十一號

同 掃特第十二號

同 倉橋

同 屋代

同 神津

同 海第四十九號

同 掃第二十三號

同 掃第一百二號

同 石崎

同 掃特第十七號

同 掃特第十八號

八三

1742

無線通信資格詮衡檢定施行に關する件
令在通知

復員廳第二復員局公報 第三五號 昭和二十一年九月十一日

同 第七福榮丸

右ヲ掃海船トシテ大湊地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十一年九月一日

復員廳總裁

復二第二二八號

昭和二十年內令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月五日

復員廳總裁

吳地方復員局ノ項「海第二十六號(佐)、同第四十號(佐)」ヲ削ル。

(參照 昭和二十一年六月六日第二復員省公報第一〇號)

復二第二二九號

吳地方復員局所管

掃海艦 海第一百二號

同 海第一百五十六號

佐世保地方復員局所管

同 海第二十六號

同 海第四十號

右ノ特別輸送艦ト改メル。

昭和二十一年九月五日

復員廳總裁

○通牒

二復入第二八號ノ一三

昭和二十一年八月三十日

復員廳第二復員局人事部長

各廳長 殿

無線通信士資格詮衡檢定施行ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ選信省ヨリ別紙ノ通知ガアツタカラ關係ノ向ニ周知方取計ヲハレタイ。

(別紙)

監第一六〇號

昭和二十一年八月十二日

選信省無線通信士資格檢定委員長

復員廳第二復員局長 殿

無線通信士資格詮衡檢定施行ニ關スル件

右ニ關シテハ自今左記ニ依リ施行ノコトトナツテ、該知ノ上關係ノ向ニ周知方取計ヲヒ願ヒタイ。

記

一 詮衡檢定ノ試問ハ毎三月、六月、九月、十二月ノ各十日(休日ノ場合ハ順延)午前九時ヨリ選信省電波局、各選信局(除

東京選信局)及ビ選信管理部ヲ行ヒ共ノ日時及ビ場所ヲ

六原則トシテ之ヲ行ハナイ。

一 各申請者ニ對スル試問科目及ビ試問期日ハ當局ヲ詮衡檢定

申請書ヲ受理シテ後決定ノ上本人ニ通知スル。
右指定期日ハ試問執行ニ關スル準備ノ都合等モアリ原則トシテ申請書類到着後凡ソ二ヶ月後ニ相當スル期日ヲ指定スル見
込デアル。

一 申請者ニ於テ申請ノ際前各號ノ條件内ニ於テ本人ノ希望スル期日及場所ヲ指定シテ來タ時ハ原則トシテ其ノ希望日時及ビ場所ヲ當局ヨリ指定スル見込デアル。

一 試問成績ノ結果ハ及落ノ如何ニカカハラズ試問執行後凡ソ一ヶ月迄ニ各申請書記載ノ現住所宛ニ當局ヨリ書留便ヲ以テ通知スル。

一 試問不合格者ハ凡ソ六ヶ月經過後デナイト更ニ次ノ試問ハ受ケラレナイ。

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

特別輸送艦 海第二二六號 吳市下山手町
同 夏 月 同 吳地方復員局選航部氣付
同 掃第二二號 佐世保郵便局氣付
同 海第一〇二號 同
同 海第五二號 佐世保市福石町
同 海第一九八號 佐世保選航部氣付

同 薦 吳市吳復員局艦船選航部氣付
青森地方世話部第二復員課 青森市大字道字浪打港三ノニ

○ 事務所

八月二十六日移轉 山口地方世話部第二復員課
山口市伊勢小路二五
九月五日移轉 長野地方世話部第二復員課
長野市箱清水舊城山館内

○ 残務整理

自六月一日 南西方面 艦隊 横須賀地方復員局
至十月三十一日 (麾下各所轄ヲ含ム) 選航部補充課内
(主任整理員 島元南西方面艦隊副官他ニ各所轄一名)
自八月二十六日 仙崎掃海部 山口縣萩市熊谷町双葉幼稚園
至九月十日 内(電話呼出 二七六番)

八月三十一日閉鎖 特別輸送艦 八

九月五日閉鎖 敦賀掃海部(残務整理ハ敦賀市大倉五五
山本方、舞鶴掃海部敦賀基地ニテ行フ)

○ 電話

千葉局 一〇二七番 千葉地方世話部第二復員課

○ 轉官

昭和二十年 内務技手ニ轉官 海軍技手 長崎 惣次
七月十七日 大藏局ニ轉官 海軍書記 植平 謙三
一月一日

復員廳第二復員局公報 第三五號 昭和二十一年九月十一日

八五

六月十五日	地方事務官ニ轉官	海軍司政官	松田 昇治
同	厚生事務局(二)ニ轉官	同	荻阪 納
同	逓信技官(一)ニ轉官	同	山崎 登
同	大藏事務官(二)ニ轉官	同	宮西 義隆
同	同	同	菊田 正就
同	地方事務官ニ轉官	復員事務官	鈴木 實
七月十五日	大藏事務官ニ轉官	海軍司政官	高屋克二郎
同	厚生事務官(二)ニ轉官	同	柱田金太郎
同	朝鮮總督府屬ニ轉官	同	中村 三愛
同	厚生事務官ニ轉官	海軍書記	井上 敏雄
同	朝鮮總督府技手ニ轉官	海軍技手	末松 末雄
八月十五日	運輸技官ニ轉官	海軍技手	釜我 清

復員廳第二復員局公報

第三六號

昭和二十一年九月十七日

第二復員局文書課

○通牒

復經主第二號ノ九五

昭和二十一年九月十二日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

薪炭買付代金ノ支拂ノ取扱ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ大藏大臣官房會計課長カラ別紙ノ通り通牒ガアツタカラ承知サレタイ。

(別紙)

藏會第九五四號

昭和二十一年九月四日

大藏大臣官房會計課長 正示啓次郎

第二復員局經理部長殿

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ支拂中

薪炭買付代金ノ支拂ノ取扱ニツイテ

首題ノ件ニツイテ別紙ノ通大藏次官ヨリ通牒ガアツタカラ取扱上遺漏ナキヤウ期セラレタイ。此ノ旨通牒スル。

(別紙)

官房秘乙第二一六號

昭和二十一年七月十八日

大藏次官閣

大藏次官殿

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ支拂中

薪炭買付代金ノ支拂ノ取扱ニ關スル件

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體受拂規則第一條第一項第五號ニ依リ薪炭買付代金(瓦斯用薪ヲ除ク)ノ支拂ノ爲必要ナル經費ハ都道府縣ノ薪炭配給統制機關ニ對シ記名式小切手ニ依リ支拂ヲ爲ス場合ニ限り大藏大臣ノ指定スル封鎖支拂ニ非サル支拂ヲ爲シ得ル經費トシテ指定ニナツタカラ右通知スル。

二復補給部第七九號

昭和二十一年八月十四日

復員廳第二復員局補給部長

復員廳第二復員局經理部長

各地方復員局補給部長殿

各地方復員局經理部長殿

燃料取扱ニ關スル件通知

物品會計規程ノ改訂(達第一一號二一五七七公報第八一號參照)並ビニ復員廳第二復員局(地方復員局ヲ含ム)分課規程ノ

復員廳第二復員局公報 第三六號 昭和二十一年九月十七日

八七

1746

制定(復二第一〇號二一六―二〇公報第三號參照)ニ伴ツテ
燃料ハ別紙要領ニヨツテ取扱ハレ度イ。

(二)復補給部第七九號別紙)

燃料取扱要領

- 一 燃料ノ取扱ハ本要領ニヨル。
- 二 燃料ハ別表第一ニ定メルヤウニ區分シ、各品種ノ使用區分ニ從ツテ各廳ニ供給スル。
- 三 特別輸送艦船及ビ掃海艦船ノ行動ニ使用スル燃料ヲ行動用燃料ト云ヒ、ソノ他ニ使用スル燃料ヲ平常用燃料ト云フ。
- 四 地方復員局補給部長(以下地方補給部長ト云フ)ハ當該復員局管下ノ月間割當要領ヲ第二復員局補給部長(以下本局補給部長ト云フ)宛前月ノ五日迄ニ着クヤウニ送付スル。(様式第一號)
- 五 本局補給部長ハ毎月ノ割當數量ヲ地方補給部長ニ通知シ、地方補給部長ハ右割當ニ對スル現品ヲ現地配給機關カラ受領シ、ソノ經費ハ需品費(目)、燃料(節)及ビ同(目)、保管運搬費(節)支辨トスル。
- 六 右割當數量中ニハ聯合軍カラ供給サレル特別輸送艦船行動用ノ重油並ビニ掃海艦船行動用ノ重油、潤滑油及ビ揮發油ハ含マナイ。
- 七 補給物件會計官吏及ビ補給物件取扱主任ハ燃料ヲ供給、還納又ハ保管轉換スルトキニハ夫々ソノ證券ヲ二通調製シ、コ

- レヲ受入者ニ送付シ、受入者ハソノ一通ノ紙端ニ領收ト書キ記名捺印シテコレヲ領收票ニ代用スル。
- 七 特別輸送艦船及ビ掃海艦船ガ行動用燃料ヲ聯合軍(配給機關代行ノモノヲ含ム)カラ受領シタトキハ補給物件取扱主任ハコレヲ受領地ノ所管補給物件會計官吏ニ報告シ、補給物件會計官吏ハコレヲ燃料ニ組入レタ上當該取扱主任ニ供給ノ手續ヲ執ルト同時ニ所屬補給物件出納命令官ヲ經テ本局補給部長ニ通報スル。但シ補給物件會計官吏ハ補給物件取扱主任ノ領收票ヲ受取ルコトガ出來ナイ場合又極メテ困難ナ場合ニハ供給票ノ寫ニソノ事由ヲ書イテ記名捺印シ、コレヲ領收票ニ代ヘルコトガ出來ル。
- 八 特別輸送艦船ガ外地デ燃料ヲ購買シタトキハ補給物件取扱主任ハ供給票二通ヲ作り、コレニ賣主ノ納票又ハコレニ代ルモノヲ添ヘテ所屬補給物件會計官吏ニ送り受入ノ手續ヲスルトトモニ購買シタコトヲ所屬補給物件會計官吏ヲ經テ本局補給部長ニ通報スルモノトスル(様式第二號)
- 九 補給物件會計官吏ハソノ保管スル燃料ヲ相互間ニ保管轉換スルコトガ出來ル。
- 十 此ノ場合保管轉換ヲ受ケタ補給物件會計官吏ハソノ品種、數量、保管受月日ヲ本局補給部長ニ通報スル。
- 十一 補給物件取扱主任相互間ニ燃料ヲ供給シタ場合ハスベテ供給拂ノ整理スル。
- 十二 補給物件會計官吏ガ燃料ヲ供給スル場合ハ左ノ各號ニヨ

- リ補給物件取扱主任ニ引渡スコトヲ立前トスル。
- (イ) 艦船ニ行動用石炭ヲ供給スル場合ハ甲板渡又ハ艦船積込渡トシ、平常用石炭ヲ供給スル場合ハ艦内指定場所渡トスル。
- (ロ) 陸上廳ニ石炭ヲ供給スル場合ハ艦内指定場所渡トスル。
- (ハ) 艦船ニ容器詰ノ液體燃料ヲ供給スル場合ハ倉庫渡ヲ立前トシ容器詰デナイ液體燃料ヲ供給スル場合ハ舷側渡トスル。
- 補給物件取扱主任ハ前項ニヨリ引渡ノ詳細ニ關シテ豫メ補給物件會計官吏ニ協議スル。
- 十二 補給物件會計官吏ハソノ保管スル燃料中ニ品質方變化シテ固有ノ品種トシテ供給不適當ト認メラレモノガ出來タトキハソノ品種、數量、來歴概要及ビ品質現狀ヲ所屬補給物件出納命令官ニ報告スル。
- 補給物件出納命令官ハ右ノ報告ヲ受ケタラバ補給物件會計官吏ニ品種ノ更訂ヲ指示シ組替ヲサシテコレヲ本局補給部長ニ通報スル。
- 十三 補給物件會計官吏及ビ補給物件取扱主任ハソノ保管スル燃料ニ亡失、損廢ガアツタトキ又ハ燃料ヲ棄却セネバナラナイトキハ證明書(様式第三號)ニ通フ所屬補給物件出納命令官ニ提出スル。
- 補給物件出納命令官ハ右ノ證明書一通ヲ本局補給部長ニ送付スル。
- 十四 已ムヲ得ナイ特殊事情ニヨリ燃料ヲ部外ニ拂下ゲル場合ハ地方補給部長ハ事前ニ拂下理由、品種、數量、時期、拂下先ニツイテ本局補給部長ニ協議シソノ通牒ヲ俟ツテ實施スル。
- 十五 補給物件取扱主任ハソノ保管スル燃料及ビ容器中ニ不用品ガ出來タトキハ便宜ノ補給物件會計官吏ニコレヲ還納スル。
- 十六 補給物件會計官吏ノ燃料出納原簿記帳ハ左ノ要領ニヨル。
- (イ) 別表第一ノ品種ニ分子別冊トスル。
- (ロ) 行動用トシテ聯合軍ヨリ受領シタモノハ別冊トシテ記載スル。
- (ハ) 「拂」供給額ノ欄ニハ「特別輸送艦船用」「掃海艦船用」「各廳用」「其他」ニ區分シ記載スル。
- (ニ) 受入先、供給先及使用區分ヲ變更シタトキ又ハ品種ノ相互換算ヲ行ツタトキハ摘要欄ニソノ旨ヲ掲記スル。
- (ホ) 外地燃料直買ノモノニハ※印ヲ付ケル。
- (ヘ) 減額ハ朱書スル。
- (ト) 平常用燃料トシテ特別輸送艦及掃海艦船ニ供給シタ場合ハ摘要欄ニ(平)印ヲ付ケル。
- (チ) 稱呼ハ石炭ハ廳、木炭カーバイト、グリースハ庭、ソノ他ハ立トスル。
- 十七 補給物件取扱主任ハ燃料受拂簿(様式第四號)及燃料拂

復員廳第二復員局公報 第三六號 昭和二十一年九月十七日

出簿(様式第五號)ヲ備ヘル。

十八 補給物件會計官吏ハ燃料出納狀況ヲ毎月一日、十五日現在ヲ所屬補給物件出納命令官ヲ經テ本局補給部長ニ通報スル(様式第六號)。

十九 補給物件取扱主任ハ年度末ニ燃料現況報告(様式第七號)ヲ所屬補給物件會計官吏ニ提出シ、補給物件會計官吏ハ年度經過後一ヶ月以内ニ燃料出納決算表(様式第八號)ヲ所屬補給物件出納命令官ヲ經テ本局補給部長ニ提出スル。但シ保管艦又ハ廢艦トナツタ場合、補給物件取扱主任ハソノ都度右ノ燃料現況報告ヲ所屬補給物件會計官吏ニ提出スル。

附則
本取扱要領ハ昭和二十一年四月一日ニ遡リコレヲ施行スル。
(別表添)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

特別保管艦	董	横須賀市田浦郵便局氣付
特別輸送艦	對馬	吳市吳地方復員局艦船運航部氣付
同	樺	大阪市住吉區柴谷町四四番地
同	早	藤永田造船所氣付
同	海第一四號	岡山縣玉野市玉造船所庶務課氣付
同	波	佐世保市福石町佐世保運航部氣付
同	勝	福岡市海岸通り二丁目
同		博多運航部氣付

同 同 岐 博多郵便局氣付
同 榎 東舞鶴郵便局氣付
近頃本連絡所宛ノモノハ長崎縣東彼杵郡針尾村ト解サレテ半ル向方多イ様デアアルガ自今必ズ長崎縣東彼杵郡南風崎郵便局氣付トサレ度イ。(佐世保上陸地連絡所)

○ 事務所

八月二十九日移轉 愛媛地方世話部第二復員課

愛媛縣伊豫郡郡中町大字灘町三丁目
豫讃線南郡中驛 下車徒歩約五分。
伊豫鐵郡中港驛 (電話郡中 三二番呼出)

九月二日開始 函館地方世話部小樽出張所

小樽市花園町小樽市役所内

○ 轉官

六月十五日 地方技官ニ轉官 海軍技手 大浦 正夫

(二復補給部第七九號別表第一)

(昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報)

區別	石炭		カ ー バ イ ト	木 炭	油重		油質輕				油滑潤			
	塊	煉			C	B	揮 發 油	揮 發 油	揮 發 油	揮 發 油	揮 發 油	揮 發 油	揮 發 油	揮 發 油
品	塊	煉	ス	木	重	重	油	油	油	油	油	油	油	
略	塊	煉	ス	木	重	重	油	油	油	油	油	油	油	
稱	炭	炭	ス	炭	重	重	油	油	油	油	油	油	油	
記號	C	B	カ バ	モ ク	L	L	K	P	A	G	I	I	I	
稱呼	炭	炭	ス	炭	重	重	油	油	油	油	油	油	油	
使 用 區 分	一特別輸送艦船及掃海艦船用 二工業用及ビ煖爐用並ニ烹炊用 三陸上船用 四陸上船用	一特別輸送艦船及掃海艦船用 二工業用及ビ煖爐用並ニ烹炊用 三陸上船用 四陸上船用	工業用	工業用	工業用及ビ煖爐用並ニ烹炊用	工業用及ビ煖爐用並ニ烹炊用	特別輸送艦船及掃海艦船用	特別輸送艦船及掃海艦船用	特別輸送艦船及掃海艦船用	特別輸送艦船及掃海艦船用	特別輸送艦船及掃海艦船用	特別輸送艦船及掃海艦船用	特別輸送艦船及掃海艦船用	特別輸送艦船及掃海艦船用

(備考)
本表以外ノ在庫品ハ類似品ニ品名更訂ノ上組入レルコト。

（二）復補給部第七九號様式第二號

（昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報）

文書番號

昭和 年 月 日

復員廳第二復員局補給部長殿

外地燃料直接購買通報

地方復員局補給部物品會計官吏 氏 名

品種	呼稱	數量	價格		購買先	購買		記事
			單價	代價		月日	地名	

（備考）受拂簿ニ登記シタ上發送スルコト。

代價支拂ノ有無

1752

(二復補給部第七九號様式第三號)

(昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報)

文書番號

昭和 年 月 日

.....地方復員局補給部物品會計官吏 氏 名④

(取扱主任)

.....地方復員局補給部物品出納命令官 氏 名⑤

燃料亡失(.....)證明書

左記物品ハ昭和 年 月 日.....ニ依リ保護スルノ術ナク.....ニ依リ亡失(.....)セリ

品	種	稱	呼	數	量	摘	要
						年 月 日地方復員局ヨリ受込ノ分

右ノ亡失(.....)ハ.....ト認メ之ヲ證明ス

昭和 年 月 日

.....地方復員局補給部物品出納命令官 氏 名⑥

1753

二復補給部第七九號様式第四號

昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報

昭和年度

燃料受拂簿

(備考)

- 一 品種別ニ口座ヲ設ケルコト
- 二 稱呼ハ石炭、木炭、グリースハ疋トシ其ノ他ハ立トス
- 三 行動用トシテ聯合軍ヨリ受領シタモノハ別冊トシテ記載スル事

1754

昭和年度

燃料出納決算表

石炭

（備考）

- 一 本表ハ別表第一ニ定メル通りニ区分シテ調製シ且品種毎ニ口座ヲ設ケルコト
- 二 行動用トシテ聯合軍ヨリ受領シタモノハ別冊トシテ記載スルコト
- 三 摘要欄ニハ、（イ）年度初頭在庫額、（ロ）當該年度受入總額、（ハ）還納、保轉受ハ朱書スル（ニ）特別輸送及掃海艦船用ニハ役務期間、行先等ヲ摘記スルコト

………地方復員局補給部

文書番號

昭和 年 月 日

………地方復員局補給部長 印

復員廳第二復員局補給部長宛

（二）復補給部第七九號様式第八號其ノ二

品 種	受 込 額	拂 出 額	残 額	摘 要

（昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報）

1757

塊 炭			
供給別	供給先	供給額	摘要
特別輸送艦船	艦 船 名		
掃海艦船	艦 船 名		
各 應	應 名		
其 他	部外拂下先、保轉 拂先、亡失、損廢 等.....		
	合 計		

(二復補給部第七九號様式第九號)

(昭和二十一年三月十七日復員廳第二復員局公報)

(二)復補給部第七九號様式第六號

(昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報)

文書番號

昭和 年 月 日

第二復員局補給部長殿

横須賀地方復員局補給部物品會計官吏氏名圖

燃料現狀報告

(月 日現在)

品種	稱呼	保管場所	現在高	前期中		後期中		記事
				受入	高	拂出	高	
石	煉炭	浦						
	一號塊炭	同						
	二號塊炭	同						
炭	三號塊炭	同						
	コークス	同						
	計	同						
揮發油	一號揮發油	立						
	二號揮發油	同						
	三號揮發油	同						
計	同							

備考

- 一 受入高及拂出高ハ左ノ項目ニ依リ記事欄ニ區分記載スルモノトス。
各月割當ニ依リ石統ヨリ購入ノモノ(購)
保轉ニ依ルモノ(保)
尙還納セルモノ(還)
- 二 右ノ外記事欄ニハ左ノ事項ヲ記載スルモノトス。
イ 保轉ニ依リ送選中ノ數量及説明
ロ 其ノ他必要ナル事項
- 三 現在高、受入高及拂出高ハ整理終了ノモノヲ記載スルコト。
但整理ヲ遅延シ實際ノ現在高ト甚シク相違シテキル場合ハ其ノ旨記載スルコト。
- 四 單位ハ石炭ハ「トリス」カ「トバイト」木炭ハ「冠」其ノ他ハ立トシ小數點以下ハ切捨テルモノトス。
- 五 品種ハ別表第一ノ區分ニカ、ワラズ細目ニ分類シ掲上スルコト。

(二復補給部第七九號様式第七號)

(昭和二十二年九月十七日復員廳第二復員局公報)

昭和 年度

燃 料 現 況 報 告

(備 考)

- 一 品類ハ別表第一ノ通ニ區分スルコト
- 二 行動用トシテ聯合軍ヨリ受領シタモノハ別冊トシテ記載スルコト

應 名

文書番號

昭和 年 月 日

.....補給物件取扱主任 氏 名 團

.....補給物件會計官吏氏名宛

1762

復員廳第二復員局公報

第三七號

昭和二十一年九月十九日(木)
第二復員局文書課

○令 達

復二第二四二號

昭和二十年内令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月十一日

吳地方復員局ノ項ヲ削ル。

復員廳總裁

(參照 昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第二號)

復二第二四八號

元軍艦 長 鯨

元第五十九號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 海第八號

右ヲ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十一年九月七日

復員廳總裁

復二第二五一號

元第十六號掃海特務艇

右ヲ特別輸送艦トシ佐世保地方復員局所管ト定メル。

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 掃第十六號

右ヲ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十一年九月十五日

復員廳總裁

復二第二五二號

昭和二十年内令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月十五日

復員廳總裁

下關掃海部ノ項掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)二隻」ヲ「雜役船(曳船)五隻」ニ改メル。

徳山掃海部ノ項ヲ削ル。

(參照 昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第二號)

復二第二五三號

復員廳分課規程中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月十五日

復員廳總裁

復員廳第二復員局公報 第三七號 昭和二十一年九月十九日

九一

1763

別紙第二第二十八條ノ表中央地方復員局ノ項掃海部ノ欄「徳山」ヲ削ル。

(参照 六月二十日第二復員局公報)

○通牒

復二第二五四號

復員廳地方復員局定員表(内譯)中次ノヤウニ改正セラレタ。

昭和二十一年九月十五日

復員廳第二復員局長

吳ノ部中徳山掃海部ノ項ヲ削リ「二八七」ヲ「二六七」ニ、「九五」ヲ「八八〇」ニ、「一、五九五」ヲ「一、五一〇」ニ、合計ノ項中「一、〇七五」ヲ「一、〇五五」ニ、「三、二九六」ヲ「三、一八一」ニ、「六、一八八」ヲ「六、一〇三」ニ改メル。

(参照 六月二十日第二復員局公報)

復二第二五五號

昭和二十一年復二第七號復員事務官ノ定員ニ關スル件中次ノヤウニ改正セラレタ。

昭和二十一年九月十五日

復員廳第二復員局長

吳地方復員局ノ項中「三八」ヲ「一八」ニ、「三三」ヲ「二〇」ニ、「計」ノ項中「二六八」ヲ「一四八」ニ、「一、〇四八」ヲ

「九三三」ニ改メル。

(参照 六月十九日第二復員局公報)

○雜款

○殘務整理

九月十日閉鎖

舊海軍施設本部(爾後ノ連絡ハ東京都芝區田村町日産館内復員廳第二復員局資料整理部ニテ行フ。但シ、契約關係ハ第二復員局經理部契約課ニ連絡サレタイ)

○轉官

四月十五日

内務技官ニ轉官 第二復員技官 黒澤喜代治

同

地方事務官ニ轉官 第二復員事務官 田澤 實

同

同 同 吉田 宏

六月十五日

遞信事務官ニ轉官 海軍司政官 竹内松之助

同

内務事務官ニ轉官 同 河野 弘道

同

遞信技官ニ轉官 海軍技師 外ノ池俊郎

七月十五日

厚生技官ニ轉官 海軍司政官 後藤亮三郎

八月十五日

運輸技官ニ轉官 海軍技師 辻 芳彦

復員廳第二復員局公報

第三八號

昭和二十一年九月二十三日(月)

第二復員局文書課

○令 達

復二第二五八號

當分ノ間徳山掃海基地ニ配スル人員ヲ次ノヤウニ定メル。

昭和二十一年九月十五日

復員廳總裁

二級事務官 七人(内一人ハ指揮官ニ充テル)

三級事務官 三十三人

雇員、傭人 四十八人

本人員ハ下關掃海部ニ臨時増置スル

(參照) 七月二十七日第二復員局公報復二第二一一號

掃海基地設置ノ件)

復二第二六七號

昭和二十年內令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月二十日

復員廳總裁

大竹掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「驅潛特第七十四號、同第七十五號」ヲ「驅潛特第七十五號」ニ改メル。

(參照) 昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第二〇號

復二第二六八號

右ノ掃海艦トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元第七十四號驅潛特務艦

昭和二十一年九月二十日

復員廳總裁

復二第二六九號

右ノ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メル。

元敷設特務艇 加 德

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 加 德

右ノ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十一年九月二十日

復員廳總裁

○通 牒

三復總第二五七號

昭和二十一年九月十八日

復員廳第二復員局總務部長

各廳長宛

復員廳第二復員局公報 第三八號 昭和二十一年九月二十三日

九三

1765

<p>調査部</p> <p>一 聯合軍側ノ要求ニ依ル戦犯關係事件ノ調査及其ノ資料蒐集ニ關スルコト 二 戦犯容疑者入(出)所ノ世話ニ關スルコト 三 戦犯容疑者及其ノ證人、參考人ノ名簿作製ニ關スルコト 四 戦犯法廷ニ關スルコト</p>	<p>人事部</p> <p>一 戦犯容疑者、其ノ證人、參考人ノ履歷、身元居所ノ調査及身分ノ取扱ニ關スルコト 二 戦犯容疑者ノ家族トノ連絡ニ關スルコト 三 戦犯容疑者判決又ハ處刑後ノ人事處理ニ關スルコト</p>	<p>總務部</p> <p>一 部内連絡及ビ統制ニ關スルコト 二 部外接渉ニ關スルコト 三 部内勤務者デアル容疑者ノ身柄保護ニ關スルコト 四 其ノ他、他部ノ所掌ニ屬セザルコト</p>	<p>部課名</p> <p>分 務 事 項</p> <p>戦犯容疑者取扱中央分擔ニ關スル件照會 戦犯容疑者、聯合軍側ヨリ指令セラレタ戦犯關係證人及ビ參考人(舊海軍々人、軍屬)ノ取扱要領ハ昭和二十一年八月一日附二復總第一四九號ニヨツテ定メラレタガ本件ニ關シ第二復員局ニ於ケル之ガ事務分擔ハ左ノ通り定メラレタカラ承知アリタイ。</p>
			<p>文書課</p> <p>一 戦犯容疑者及其ノ證人、參考人ノ宿泊給養ニ關スルコト 二 證人、參考人ノ出頭(呼出)及其ノ世話ニ關スルコト</p> <p>備考</p> <p>關係各部ハ相互ニ連絡ヲ密ニシ協力スルモノトスル</p>

復員廳第二復員局公報

第三九號

昭和二十一年九月二十七日

○令 達

復二第二七七號

元軍艦 北 上

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十一年九月二十一日

復員廳總裁

○通 牒

復二第二七七號

昭和二十一年九月十九日

復員廳第二復員局長

關係各廳長殿

内地歸還海軍文官、嘱託者及ビ徵用員解員(解除)時増俸報酬増額廢止ニ關スル件申進

外地カラ歸還シタ海軍文官、嘱託者及ビ徵用員ハ左記令達ニヨリ免官又ハ解職(解除)ニ際シ増俸又ハ報酬増額ヲ行ツテキタガ、自今コレヲ行ハナイコトニナツタカラ承知サレタイ。

記

一 昭和二十年八月三十日官房機密第三〇一四〇一番電

海軍文官終職處理ニ關スル件(昭和二〇、九、六)

一 昭和二十年八月十八日海軍機密第一八一四五〇番電

嘱託者及徵用員解職(解除)ニ關スル件(昭和二〇、九、六)

二 復人扶第七號ノ四八

昭和二十一年九月二十五日

復員廳第二復員局人事部長

各地方復員局人事部長殿

靖國神社合祀關係書類書式改正等ノ件通知

靖國神社合祀事務ヲ急遽ニ處理スル趣旨デ、提出書類ノ書式等ヲ左記ノ通り改メ又ハ一部添付書類ヲ省略スルコトニサレタカラ了知サレタイ。

記

一 靖國神社合祀海軍軍人軍屬名簿(甲、乙號共)ヲ別紙ノ通り改メル。

二 一連名簿ハ廢止スル。

三 戦死、戦傷死及ビ戦病死者ニ對シテハ、證據書類ノ添付ヲ

略ス。

四 戦死、戦傷死及ビ戦病死者ハ甲號靖國神社合祀名簿ニ、ソ

復員廳第二復員局公報 第三九號 昭和二十一年九月二十七日

九五

1767

ノ他ノ死歿者ハ乙號靖國神社合祀名簿ニ記載スル。
備考

- 一 合祀者銓衡範圍ハ昭和十九年官房人機密第一六二九號ニ準據スルコト。但シ昭和二十年九月二日迄ニ死歿シタ者トスル、同月三日以後ノ死歿者ハ別途詮議サル。
- 二 本名簿提出後生還者アツタ場合、ソノ他合祀不適當ナ事由判明シタ場合ハ、ソノ都度迅速確實ニ通知スルコト。
- 三 舊書式デ提出準備シタ分ハ、ソノ儘提出シテモ差支ヘナイ。
- 四 合祀名簿ヲ重複提出シタ事例ガアルガ、重複合祀ノ因トナルカラ斯様ナコトノナイヨウニ充分注意サレタイ。

(別紙添)

○難 款

○郵便物發送先

- 特別輸送艦 輪第二〇號 吳市下山手町吳運航部氣付
- 同 海第六七號 佐世保市福石町佐世保運航部氣付
- 同 海第三七號 大阪市東區北濱二ノ一九 大阪地方復員局留置
- 同 若 應 佐世保郵便局氣付
- 特別掃海艇 第一九號 舞鶴市舞鶴運航部留置
- 掃海母艦 新 南 十月五日迄秋田縣船川郵便局氣付
十月五日迄山形縣酒田郵便局氣付

○事務所

九月五日開始 吳地方復員局補給部
燃料關係事務ハ吳市狩留費町森澤別荘(吉浦隧道西口海岸側)倉庫内
九月十日廢止 下關上陸地連絡所

○殘務整理

自九月二十日 小スング民政部殘務整理班 第二復員局人事
至十月二十日 部内

○轉官

八月二十九日 遞信技官(專任) 復員技官兼 三條 善一
遞信技官

○死亡

(二復人扶第七號ノ四八別紙)

(昭和二十一年九月二十七日復員廳第二復員局公報)

甲號靖國神社合祀者名簿

、地方復員局(鹿兒島縣)

年月日	區分	病名	亡		所轄	等級	氏名	本籍地		續柄及遺族名
			有	無				現住	所	
20 1 9	戰死	南支那海	無	無	驅漕空	一曹	中村 茂	薩摩郡下飯村平打五	父四郎	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	水長	吉松 文太郎	川内市大辰町六	初子	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	二曹	大迫 常雄	日置郡伊作町小野一二五	母ハ	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	三曹	三重野 安	始良郡清水村川原一九八一	妻ス	
20 5 29	戰死	非島	有	有	中非空	上整曹	幸田 志和喜	熊本郡下尾久村中間二九 熊本縣大草郡高濱村三三三	妻 シツエ	
20 8 12	戰傷死	霞山分院	有	有	三五三空	上飛曹	石川 龍三	掛箱郡額娃村郡九一二三	父 龍夫	
20 6 3	戰病死	熱帶熱病 海南基地 病舎	有	有	臺灣空	上水	木下 清	肝屬郡大根古町馬場七	妻 イネ	
20 6 15	〃	三日熱 マラリア	〃	〃	八四警	二曹	森 俊作	大島郡與論村那間二六〇〇	妻 ツメ	
20 7 10	〃	肺結核 海南分院	〃	〃	十五警	一機曹	右郷岡 三郎	鹿兒島市常磐町一一三	父 喜三	

調製上ノ注意

- 一 本名簿ニハ、戰死、戰傷死及ビ戰病死者ヲ記載スルコト。
- (戰死認定ノ場合ハ認定ナル旨明ニ附記スルコト。)
- 二 本籍地府縣別ニ、別紙トスルコト。
- 三 戰歿ノ事由、経緯等ハ記載例ニ準ジテ記載スルコト。
- 四 職名ニツイテ
 - (イ) 徵備船舶船員ハ待遇ノ區分ヲ間ハズ總テ囑託ト記載スルコト。
 - (ロ) 理事生、運轉士、操船手、工長、職手等ノ肩、傭人工員等ハ大別シテ職員、傭人又ハ工員等ト記載スルコト。
 - (ハ) 徵用員ハ、ソノ旨適宜記載スルコト。
- 五 用紙ハ適宜
- 六 靖國神社合祀ニツイテ、既ニ名簿提出済ノモノハ、本名簿ニハ記入シナイコト。

復員廳第二復員局公報

第四〇號

昭和二十一年九月三十日(月)
第二復員局文書課

○令 達

復二二七六號

大阪地方復員局所管

特別輸送艦 掃特第二十一號

同 掃特第二十二號

大湊地方復員局所管

同 掃特第十七號

同 掃特第十八號

右ヲ横須賀地方復員局所管ト改メル。

昭和二十一年九月二十五日

復員廳 總裁

復二二八五號

昭和十八年内令第二五六號中次ノヤツニ改正スル。

昭和二十一年九月二十八日

復員廳 總裁

第三南遣艦隊ノ項特設驅潛艇ノ欄「白洋丸(舞)、高雄丸(舞)」ヲ削ル。

第二遣支艦隊ノ項特設防潜網艇ノ欄「下松丸(吳)」ヲ削ル。

復二二八六號

汽船 下松丸

右ヲ特設防潜網艇トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

同 白洋丸

同 高雄丸

右ヲ特設驅潛艇トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十一年九月二十八日

復員廳 總裁

○通 牒

二復入第二八號ノ一六

昭和二十一年九月十七日

復員廳第二復員局人事部長

各 廳 長 殿

第二復員局人事事務分擔ニ關スル件通知

本年六月十五日制度改正ニ伴ヒ從來人事局扶助課第三班ニ於テ掌理中ノ就職相談、職業輔導及ビ進學相談等ノ業務ハ人事部長事課(輔導班)ニ移管サレタ。

右ニ關係スル事項ハ左記ニ照會サレ度イ。

記

復員廳第二復員局公報 第四〇號 昭和二十一年九月三十日

九七

1771

復員事務官 石川 健逸
同 京谷 勝壽
同 相良 辰雄

二復經主第七號ノ一二三

昭和二十一年九月二十七日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

俸給及ビ給料改定ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタカラ承知サレタイ。

第一三番電 (昭和二十一年九月十六日發電濟)

發 第二復員局長

宛 部内一般(地方世話部第二課ヲ含ム)

俸給及ビ給料改定ノ件

第二復員部内各廳(地方世話部第二課ヲ含ム)職員(外地又ハ外國ニアル軍人軍屬ヲ除ク)ノ俸給、報酬及ビ給料ハ本年七月一日以降左ニヨリ改定スルコトニ定メラレタ(地方世話部職員ニツイテハ内務省ト打合濟デアリ第一復員局例ト同一歩調デアル)。

一 昭和二十一年七月一日現在ノ俸給、報酬又ハ給料ニ臨時物價手當相當額、勤続手當相當額(増額シタルモノ)、臨時手當相當額(六大都市以外ノ市ニツキ定メタル額但シ算出基礎額中臨時家族手當ヲ除ク)及ビ賞與月割相當額(俸給、報酬又

ハ給料、臨時物價手當及ビ勤続手當ノ合計月額ノ三分ノ一但シ四位未満切捨)ヲ加ヘタ合計金額ヲ新俸給(新報酬又ハ新給料)トスル但シ其ノ合計月額ニ相當スル新俸給、新報酬又ハ新給料ノ定額ガナイトキハ直近上位ノ新俸給又ハ新定額ニヨル。

二 昭和二十一年七月二日以後舊俸給、舊報酬又ハ舊給料デ任用又ハ採用サレタモノニツイテハ任用又ハ採用ノ日現在デ前號ニ準ジコレヲ改定スル。

三 改定手續等ノ細目ニ關シテハ第二復員局人事部長及ビ同經理部長ヨリ通牒スル。

(註 通牒ハ別送スル)

二復經主第七號ノ一〇七

昭和二十一年九月十六日

復員廳第二復員局人事部長

復員廳第二復員局經理部長

各關係廳長殿

各地方世話部第二課長殿

俸給給料改正取扱ニ關スル件通牒
官更同待遇者、嘱託者、雇員及ビ傭人(外地又ハ外國ニアル軍人軍屬ヲ除ク)ノ俸給、報酬及ビ給料ハ左記ニヨリ改正スルコトニ定メラレタカラ承知サレタイ。

記

第一 俸給、報酬及ビ給料
官更

一 俸給

昭和二十一年七月一日現在ノ舊俸給月額ニ(イ)乃至(ハ)ノ手當相當額及ビ賞與月割相當額ヲ加ヘタ合計金額ニ相當スル第一表ノ號俸ノ月額ヲソノ新俸給トスル、但シソノ月額ニ相當スル號俸ガナイトキハ直近上位ノ號俸ニヨル。

(イ) 臨時物價手當相當額
昭和二十一年七月一日現在ノ舊俸給月額ノ六割ニ相當スル金額(圓位未満ハ切捨テル)ヲ臨時物價手當相當額トスル但シ最高ハ百圓ヲ超エズ最低ハ五十圓ヲ下ラナイ金額トスル。

(ロ) 勤続手當相當額
勤続五年以上ノ者ニツイテハ昭和二十一年六月三十日迄ノ勤続年數ニヨリ第二表ニ定メタ額ヲ勤続手當相當額トスル。

勤続期間ノ計算ハ第二復員部内勤続手當支給規則第五條乃至第八條ノ規定ヲ準用スル但シ休職、停職又ハ待命中ノ者ガ復職シタトキ又ハ再ビ勤務ヲ命ゼラレタトキハソノ休職、停職又ハ待命中ノ期間ハコレヲ通算スルコトガデキル又兵タル期間ハ通算出來ナイ。

註
(1) 士官及ビ豫備士官ノ勤続期間ノ始期ノ計算ハ少尉候補生、見習尉官又ハ士官ニ任用又ハ採用ノ日ノ屬スル月ノ一日ヲ以テ其ノ始期トスル。
(2) 下士官以上トシテ召集サレタ期間ハ勤続期間ニ通

算出來ル方陸軍兵又ハ海軍兵ニ徵集又ハ召集サレタ期間ハ兵以外ノ有給ノ職員トシテ官公署ニ籍ノアツタ期間以外ハ勤続期間ニ通算デキナイ。

(3) 昭和二十年十二月一日以後召集サレ海軍兵ノ身分ヲ有スル儘職員ニ採用サレタ者ニツイテハ其ノ期間ハ勤続期間ニコレヲ通算スル。

(4) 俸給、報酬又ハ給料ノ月額百五十圓ヲ超エル場合デモソノ勤務期間ハ勤続期間ニコレヲ計算スル。

(ハ) 臨時手當相當額
昭和二十一年七月一日現在ノ舊俸給月額ニ(イ)及ビ(ロ)ノ手當相當額ヲ加ヘタ合計金額(千圓未満ハ切捨テル)ニツイテ第三表ニ定メタ額ヲ臨時手當相當額トスル。

(ニ) 賞與月割相當額
昭和二十一年七月一日現在ノ舊俸給月額ニ(イ)及ビ(ロ)ノ手當相當額ヲ加ヘタ合計額ノ三分ノ一ニ相當スル金額ヲ賞與月割相當額トスル但シ圓位未満ハ切捨テル。

二 昭和二十一年七月二日以後舊俸給ヲ任用サレタ者ノ俸給ノ改正モ前號ニ準ジテ行フモノトスル但シ前號中七月一日トアルハ任用ノ日トスル。

三 前各號ニヨリ改正シタ新俸給方第四表ノ初任給ノ金額ニ滿タナイトキハ初任給ノ金額ニ相當スル號俸迄引上げルコトガデキル。

雇員及ビ傭人
一 給料

昭和二十一年七月一日現在ノ舊給料月額(日給ハ三十日分ヲ月額トスル)ニ官吏ノ部(イ乃至ニ)ニ準ジ其ノ金額(雇傭人ニツキ定メタモノハ其ノ金額)ヲ加ヘタ金額(日給ハソノ三十分ノ一トスル)ニ相當スル第五表ノ給料ノ月額又ハ日額ヲソノ給料トスル但シソノ月額又ハ日額ニ相當スル給料ガナイトキハ直近上位ノ給料ニヨル。

二 官吏ノ部第二號及ビ第三號ノ規定ハ雇員及ビ傭人ニツキコレヲ準用スル但シ第四表ハ第六表トスル。

囑託者

官吏ノ待遇ヲ受ケル者ハ官吏ニ、無待遇ノ者ハ雇員ニ準ジテ報酬ヲ定メル但シ官吏ノ部第一號第一項但書及ビ第三號ハ準用シナイ。

第二 手續及ビ報告

一 俸給、報酬及ビ給料

俸給、報酬又ハ給料ノ改正ノ手續ハ所屬廳長ガ新俸給(新給料)及ビ家族手當調書(別紙第一様式)ニヨリコレヲ行フモノトスルコノ場合大藏省給與局デ作成シタ新俸給給料換算早見表ト對照スルコトトスル。

廳長前項ニヨリ一級官吏、二級官吏及ビ囑託者ノ俸給及ビ報酬ノ改正ヲ爲ストキハ當該調書二通(正副各一)ヲ昭和二十一年十月十日迄ニ第二復員局長ニ提出シソノ承認ヲ經ルヲ要スルモノトスル。

第一項ニヨリ三級官吏、雇員及ビ傭人ノ俸給及ビ給料ノ改正ヲ爲シタトキハ當該調書二通(副)ヲ昭和二十一年十月

十五日迄ニ第二復員局長ニ提出スルモノトスル。

註

- (1) 一、二級官吏(特務士官ヨリ任用セラレタ者ヲ除ク)及ビ囑託者並ビニ第二復員局所屬ノ三級官吏ニ對スル新號俸及ビ新報酬ノ辭令ハ第二復員局人事部長ニ於テコレガ發令ノ手續ヲスル。
- (2) 前號以外ノ者ノ新號俸及ビ新給料ノ辭令ハ本人ノ人事ヲ掌理スル地方復員局人事部長(雇員及ビ傭人ハ各廳長(コレニ準ズルモノヲ含ム))ニ於テコレガ發令ノ手續ヲスル。
- (3) 外地航海中ノ艦船乗員ノ調書ノ提出期限ハ當該艦船ノ内地歸着後十五日以内トスル。

二 扶養家族ノ認定

昭和二十一年七月一日現在扶養家族ヲ有スル者ニツイテハ第二復員部内臨時家族手當支給規則第五條ニ準ジ扶養家族ノ申請書ヲ提出サセソノ給否ヲ定メルモノトスル。

前項ノ規定ハ昭和二十一年七月二日以後任用又ハ採用ノ者デ俸給、報酬又ハ給料ノ改正ヲスル者ニコレヲ準用スル。

第三 雜件

俸給、報酬又ハ給料ノ改正ハ昭和二十一年七月一日附コレヲ行フモノトスル但シ昭和二十一年七月二日以後舊俸給、舊報酬又ハ舊給料デ任用又ハ採用サレタ者ニツイテハソノ任用又ハ採用ノ日トスル。

（二）復經主第七號ノ一〇七別紙）

（昭和二十一年九月三十日復員廳第二復員局公報）

第二表 勤続手当相當額

勤続年數	五年		一五年		二五年	
	勤続手當相當額（官吏及ビ同待遇者）	雇員及ビ備人	勤続手當相當額（官吏及ビ同待遇者）	雇員及ビ備人	勤続手當相當額（官吏及ビ同待遇者）	雇員及ビ備人
一四	二八	一九	二四	六八	四八	七六
一三	二四	一六	二三	六四	四五	七三
一二	二〇	一四	二二	六〇	四二	七〇
一一	一八	一二	二一	五六	三九	六七
一〇	一六	一〇	二〇	五二	三六	六四
九	一四	九	一九	四八	三四	六二
八	一二	八	一八	四四	三一	五九
七	一〇	七	一七	四〇	二八	五六
六	八	六	一六	三六	二五	五三
五年	六	五	一五	三二	二二	五〇
三四以上	一〇八	七六	三三	一〇四	七〇	七三
三三	一〇四	七三	三二	一〇〇	六七	七〇
三二	一〇〇	六七	三一	九六	六四	六七
三一	九六	六四	三〇	九二	六二	六四
二九	八八	六二	二八	八四	五九	五六
二八	八四	五六	二七	八〇	五六	五六
二六	七六	五三	二六	七六	五三	五三
二五	七二	五〇	二五	七二	五〇	五〇

（二）復經主第七號ノ一〇七別紙

（昭和二十一年九月三十日復員廳第二復員局公報）

第五表ノ(イ) 雇員備入給料(月給ノ部)	
號	給額
一	一二〇円
二	一三〇
三	一四〇
四	一五〇
五	一六〇
六	一七〇
七	一八〇
八	一九〇
九	二〇〇
一〇	二一〇
一一	二二〇
號	給額
一二	二三〇円
一三	二四〇
一四	二六〇
一五	二八〇
一六	三〇〇
一七	三二〇
一八	三四〇
一九	三六〇
二〇	三八〇
二一	四〇〇
二二	四二〇
號	給額
二三	四四〇円
二四	四七〇
二五	五〇〇
二六	五三〇
二七	五六〇
二八	五九〇
二九	六二〇
三〇	六五〇
三一	六九〇
三二	七三〇
三三	七七〇
號	給額
三四	八一〇円
三五	八五〇
三六	九〇〇
三七	九五〇
三八	一、〇〇〇
三九	一、〇五〇
四〇	一、一〇〇
四一	一、一五〇
四二	一、二〇〇

1777

(二復經主第七號ノ一〇七別紙)

(昭和二十一年九月三十日復員廳第二復員局公報)

第四表 初 任 給

大學令ニヨル大學ヲ卒業シタ者及ビ高等試験ニ合格シタ者ヲ將來ノ二級官吏(幹部)候補者トシテ三級官ニ任用ノモノハ八號俸(五四〇圓)。

大學令ニヨル大學ヲ卒業シタ者及ビコレニ準ズル學歷又ハ資格ノアル者ヲ三級官ニ任用ノモノハ六號俸(四六〇圓)。
專門學校令ニヨル專門學校ヲ卒業シタ者及ビコレニ準スル學歷又ハ資格ノアル者ヲ三級官ニ任用ノモノハ三號俸(三六〇圓)。

ソノ他三級官ニ任用ノモノハ一號俸(三〇〇圓)。

（二復經主第七號ノ一〇七別紙）

（昭和二十一年九月三十日復員廳第二復員局公報）

第五表ノ(口) 傭人給料(日給ノ部)	
號	給額
一	四、〇〇〇 ^円
二	四、五〇〇
三	五、〇〇〇
四	五、五〇〇
五	六、〇〇〇
六	六、五〇〇
七	七、〇〇〇
八	七、五〇〇
九	八、〇〇〇
一〇	八、五〇〇
一一	九、〇〇〇
一二	九、五〇〇
號	給額
一三	一〇、〇〇〇 ^円
一四	一〇、八〇〇
一五	一一、六〇〇
一六	一二、四〇〇
一七	一三、二〇〇
一八	一四、〇〇〇
一九	一四、八〇〇
二〇	一五、六〇〇
二一	一六、四〇〇
二二	一七、二〇〇
二三	一八、〇〇〇
二四	一九、〇〇〇
號	給額
二五	二〇、〇〇〇 ^円
二六	二一、〇〇〇
二七	二二、〇〇〇
二八	二三、〇〇〇
二九	二四、〇〇〇
三〇	二五、〇〇〇
三一	二六、〇〇〇
三二	二七、〇〇〇
三三	二八、〇〇〇
三四	二九、〇〇〇
三五	三〇、〇〇〇
三六	三一、〇〇〇
號	給額
三七	三二、〇〇〇 ^円
三八	三三、〇〇〇
三九	三四、〇〇〇
四〇	三五、〇〇〇
四一	三六、〇〇〇
四二	三七、〇〇〇
四三	三八、〇〇〇
四四	三九、〇〇〇
四五	四〇、〇〇〇

1779

第六表 初任給

區分	分	月額
大學令ニヨル大學ヲ卒業シタ者及ビコレニ準ズル學歷又ハ資格ノアル者	至自	四四〇〇 四七〇〇 四〇〇〇
專門學校令ニヨル專門學校ヲ卒業シタ者及ビコレニ準ズル學歷又ハ資格ノアル者	至自	三三〇〇 三六〇〇 四〇〇〇
中等學校令ニヨル中等學校又ハ實業學校ヲ卒業シタ者及ビコレニ準ズル學歷又ハ資格ノアル者	至自	二二〇〇 二六〇〇 三〇〇〇
國民學校令ニヨル國民學校高等科ヲ修了シタ者及ビコレニ準ズル學歷又ハ資格ノアル者	至自	一一〇〇 一五〇〇 二〇〇〇
國民學校令ニヨル國民學校初等科ヲ修了シタ者及ビコレニ準ズル學歷又ハ資格ノアル者	至自	一一〇〇 一五〇〇 二〇〇〇

備考

- 一 卒業後一箇年以上ヲ經過シタ者デアツテ、ソノ官廳ノ職員トシテ必要ナ實歴ノアル者ニツイテハ、ソノ實歴一箇年ニツキ第五表ノイ又ハ第五表ノロノ號ノ一階級宛本表月額ヨリ高クスルコトガデキル、但シ實歴五年以上ノモノハ五年トミナスコト
- 二 特殊ノ技能ヲ要スル職務ニ従事スル者デアツテ、ソノ職務ニツイテ職務上ノ加給ヲ受ケナイ場合ハ本表月額ニ相當スル第五表ノイ又ハ第五表ノロノ號ヨリモ二階級マデ高クスルコトガデキル

（二）復經主第七號ノ一〇七別紙
 （昭和二十一年九月三十日復員廳第二復員局公報）

第三表 臨時手當相當額		臨時手當相當額		臨時手當相當額		臨時手當相當額	
俸給(報酬、給料)、 臨時物價手当相當 額及ビ勤続手当相當 額ノ合計額	臨時手當相當額	俸給(報酬、給料)、 臨時物價手当相當 額及ビ勤続手当相當 額ノ合計額	臨時手當相當額	俸給(報酬、給料)、 臨時物價手当相當 額及ビ勤続手当相當 額ノ合計額	臨時手當相當額	俸給(報酬、給料)、 臨時物價手当相當 額及ビ勤続手当相當 額ノ合計額	臨時手當相當額
九〇〇円	六八九円	六一〇円	七六八円	三三〇円	三三〇円	三三〇円	五一二円
八九〇	六九六	六〇〇	七六五	三二〇	三二〇	三二〇	四九八
八八〇	七〇四	五九〇	七六三	三〇〇	三〇〇	三〇〇	四八五
八七〇	七一〇	五八〇	七六〇	二九〇	二九〇	二九〇	四七一
八六〇	七一七	五七〇	七五六	二八〇	二八〇	二八〇	四五七
八五〇	七二三	五六〇	七五三	二七〇	二七〇	二七〇	四四三
八四〇	七二九	五五〇	七四八	二六〇	二六〇	二六〇	四二九
八三〇	七三四	五四〇	七四四	二五〇	二五〇	二五〇	四一五
八二〇	七三九	五三〇	七三九	二四〇	二四〇	二四〇	四〇〇
八一〇	七四四	五二〇	七三四	二三〇	二三〇	二三〇	三八六
八〇〇	七四八	五一〇	七二九	二二〇	二二〇	二二〇	三七一
七九〇	七五三	五〇〇	七二三	二一〇	二一〇	二一〇	三五六
七八〇	七五六	四九〇	七一四	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三四〇
七七〇	七六〇	四八〇	七〇二	一九〇	一九〇	一九〇	三二三
七六〇	七六三	四七〇	六九二	一八〇	一八〇	一八〇	三〇六
七五〇	七六五	四六〇	六八一	一七〇	一七〇	一七〇	二八九
七四〇	七六八	四五〇	六七〇	一六〇	一六〇	一六〇	二七二
七三〇	七七〇	四四〇	六五九	一五〇	一五〇	一五〇	二五五
七二〇	七七二	四三〇	六四七	一四〇	一四〇	一四〇	二三八
七一〇	七七三	四二〇	六三六	一三〇	一三〇	一三〇	二二一
七〇〇	七七四	四一〇	六二四	一二〇	一二〇	一二〇	二〇四
六九〇	七七五	四〇〇	六一二	一一〇	一一〇	一一〇	一八七
六八〇	七七五	三九〇	六〇一	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一七〇
六七〇	七七五	三八〇	五八八	九〇	九〇	九〇	一五三
六六〇	七七五	三七〇	五七六	八〇	八〇	八〇	一三六
六五〇	七七四	三六〇	五六四	七〇	七〇	七〇	一一九
六四〇	七七三	三五〇	五五二	六〇	六〇	六〇	一〇二
六三〇	七七二	三四〇	五三八	五〇	五〇	五〇	八五
六二〇	七七〇	三三〇	五二五				

所屬長認印

官吏待遇官吏ノ分	新俸給及家族手当調書		氏名	
1. 所管	省所管	2. 會計	會計	3. 官廳
4. 勤務箇所	(5) 同所在地		甲 乙 丙	(6) 官名及級別
7. 部局課名	8. 職名及職務		親任 1 2 3 待遇	
(9) 男女別	男 女	10. 年齢	歳	11. 勤続年数
(12) 學歷及資格	A B C D E F G H I J K L M			
13. 新俸給	號俸		圓	14. 舊俸給
15. 扶養家族	人 (16) 同内譯		妻 子 父母 孫 祖父母 弟妹 不具殘疾者	
俸給切替調書				
○ 舊本俸相當額		圓		○ 臨時物價手当相當額
算出内譯		昭和 20. 9. 1 現在本俸		圓
		コレ= 對スル加算額		圓
又 ハ		昭和 21. 7. 1 現在本俸		圓
○ 恩給法施行令20條ノ本俸ニ準スベキモノ相當額		圓		○ 賞與月割額相當額
○ 昭和 16 年勅令 520 號ノ手当相當額		圓		合計
新俸給		號俸		圓
		次期昇給繰延要否		要 否

1782

